

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成20年11月13日
【四半期会計期間】	第60期第2四半期（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）
【会社名】	白銅株式会社
【英訳名】	Hakudo Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 井上 薫
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号
【電話番号】	03(6212)2811
【事務連絡者氏名】	管理部長 芝村 健太
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号
【電話番号】	03(6212)2811
【事務連絡者氏名】	管理部長 芝村 健太
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第2四半期連結 累計期間	第60期 第2四半期連結 会計期間	第59期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(千円)	18,689,193	9,206,415	38,118,301
経常利益(千円)	1,127,353	542,343	2,611,446
四半期(当期)純利益(千円)	634,232	330,518	1,473,502
純資産額(千円)	-	11,769,114	11,773,699
総資産額(千円)	-	25,217,990	25,890,932
1株当たり純資産額(円)	-	916.64	917.00
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	49.40	25.74	114.76
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	46.7	45.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	817,972	-	1,179,938
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	774,065	-	1,052,759
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	937,559	-	578,177
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	-	2,445,222	3,339,814
従業員数(人)	-	288	283

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### （1）連結会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数（人）	288[140]
---------	----------

- （注）1．従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は[ ]内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。
- 2．従業員数には、当社グループからグループ外への出向者は含まれておりません。

### （2）提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数（人）	232[136]
---------	----------

- （注）1．従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は[ ]内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。
- 2．従業員数には、当社から社外への出向者は含まれておりません。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

該当事項はありません。

#### (2) 商品仕入実績

当第2四半期連結会計期間の商品仕入実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
アルミ(千円)	4,635,505
伸銅(千円)	975,699
ステンレス(千円)	833,837
特殊鋼(千円)	142,144
その他(千円)	128,528
合計(千円)	6,715,715

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 受注状況

該当事項はありません。

#### (4) 販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目		当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
在庫品	アルミ(千円)	3,108,209
	伸銅(千円)	1,185,281
	ステンレス(千円)	1,397,135
	特殊鋼(千円)	141,093
	その他(千円)	109,691
	計(千円)	5,941,411
特注品	アルミ(千円)	2,848,877
	伸銅(千円)	170,258
	ステンレス(千円)	132,304
	特殊鋼(千円)	39,862
	その他(千円)	73,700
	計(千円)	3,265,003
合計(千円)		9,206,415

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 総販売実績に対する販売実績の割合が100分の10以上の相手先はありません。

## 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 3【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

### （1）業績の状況

当第2四半期連結会計期間の我が国経済は、原油と資材価格の高騰ならびに輸出減少の影響を受け、大手製造企業は業況が悪化し、景気が後退局面に入りつつあります。

当社グループ業績に影響度の高い半導体製造装置業界および液晶製造装置業界をはじめとして、自動車関連業界、航空機関連業界においても、製造設備の投資計画の見直しが行われております。

アルミ地金はトン当たり7月月初の36万1千円から9月末には31万5千円に、銅地金はトン当たり7月月初の97万円から9月末には78万円に、ステンレス鋼板はトン当たり7月月初の52万円から9月末には46万2千円と第2四半期で大幅に下落しました。

このような環境の中で当社グループは、着実に地域密着型営業施策を展開していくことで、顧客との情報交換の場を増やし、顧客との信頼関係の構築を図るとともに、多様なニーズに対応するための取扱商品の充実と加工能力の拡大で、拡販に努めております。

郡山工場、厚木工場、滋賀工場、九州工場の4工場では、お客様へのより良い対応を目指し、加工能力の安定と配達機能の充実に注力しております。

連結子会社の上海白銅精密材料有限公司は、上海を中心とした地場企業や日系企業の需要への対応と拡販に努め、黒字化実現を目指しております。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は92億6百万円となり、営業利益は4億6千9百万円、経常利益は5億4千2百万円、四半期純利益は3億3千万円となりました。

### （2）経営成績の分析

#### 売上高

当社グループの非鉄金属販売取引においては、前四半期連結会計期間に引き続き、当四半期も出荷量が伸び悩みました。特に伸銅は落ち込んだもののアルミや特殊鋼の拡販等により、当第2四半期連結会計期間における売上高は92億6百万円となりました。

#### 売上原価および売上総利益

九州工場の稼働やサービス・加工機能の強化を目的とした切断加工機等の積極的な設備投資による減価償却費の増加や業務委託費の増加等により、売上原価は76億2百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における売上総利益は16億4百万円となりました。

#### 販売費及び一般管理費および営業利益

原油価格高騰に伴う運賃の増加や販売促進費等の営業活動費用が増加したこと等により、販売費及び一般管理費は11億3千5百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における営業利益は4億6千9百万円となりました。

#### 営業外損益、経常利益および四半期純利益

為替差益の発生等により、営業外損益は純額で7千3百万円の利益となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間における経常利益は5億4千2百万円、四半期純利益は3億3千万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因について

当社グループの主要販売分野である半導体製造装置業界および液晶製造装置業界においては、計画調整・在庫調整等の不確定要素が内在されており、当該業界における市場動向を的確に分析・把握し、顧客ニーズに応えることが当社グループの経営成績に対して重要な影響を与える要因となります。

(6) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、当第2四半期連結会計期間における営業活動による資金の獲得2億7千6百万円、投資活動による資金の支出4億3千1百万円、財務活動による資金の支出8百万円等により前四半期連結会計期間末に比べ1億5千8百万円減少し、24億4千5百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億7千6百万円となりました。

主な要因は、仕入債務や未払費用が減少したこと等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4億3千1百万円となりました。

主な内容は、九州工場の設備投資等を中心とする有形固定資産の取得による支出4億1千7百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は8百万円となりました。

主な内容は、短期借入金による収入9千1百万円と配当金の支払による支出9千7百万円であります。

(7) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

資金需要

当社グループの運転資金需要のうち主なものは、販売および在庫のための商品購入ならびに商品の加工費用のほか、販売費及び一般管理費等であります。販売費及び一般管理費の主なものは、人件費、運賃、業務委託費等であります。

財務政策

当社グループは現在、運転資金については短期借入金により、設備資金については内部留保により調達することを基本としております。

なお、借入金の返済に関しては、有利子負債の削減を図るため、余裕資金の状況を勘案しつつ、適宜返済する方針であります。

(8) 経営者の問題認識と今後の方針について

当社グループ業績は、半導体製造装置業界および液晶製造装置業界をはじめとして、自動車関連業界、航空機関連業界の投資計画の見直しが大きく影響します。

また、米国金融危機が、我が国の住宅や家電の業界および当社業績にも影響を及ぼすと予想されますが、各工場の加工能力の強化と高付加価値商品の拡販、専門分野と頂点企業への販売強化を戦略的課題として、ステークホルダーの皆様にとって価値ある企業を目指す為、業務の効率化および業績の向上に努めます。

### 第3【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備の重要な異動はありません。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,720,000
計	16,720,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成20年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,840,000	12,840,000	東京証券取引所 市場第一部	-
計	12,840,000	12,840,000	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成20年7月1日～ 平成20年9月30日	-	12,840,000	-	1,000,000	-	621,397



( 5 ) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
廣成株式会社	東京都中央区八丁堀三丁目25番7号	1,497	11.65
山田 広太郎	東京都世田谷区	1,082	8.42
山田 晋司	東京都港区	972	7.57
山田 哲也	東京都渋谷区	972	7.57
山田 のどか	東京都世田谷区	925	7.20
山田 光重	東京都港区	681	5.30
山田 治男	東京都品川区	676	5.26
山田 智則	東京都品川区	676	5.26
山田 悦弘	東京都渋谷区	354	2.75
山田 和正	東京都世田谷区	290	2.25
計	-	8,125	63.28

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,838,500	128,385	-
単元未満株式	普通株式 1,000	-	-
発行済株式総数	12,840,000	-	-
総株主の議決権	-	12,385	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。

「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数が10個が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
白銅株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号	500	-	500	0.00
計	-	500	-	500	0.00

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	1,402	1,380	1,379	1,333	1,298	1,156
最低(円)	1,285	1,300	1,220	1,230	1,120	953

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,445,222	3,339,814
受取手形及び売掛金	11,087,405	11,678,271
商品	4,052,256	3,457,096
貯蔵品	33,780	21,665
繰延税金資産	194,890	195,095
その他	162,829	171,835
貸倒引当金	26,399	30,045
流動資産合計	17,949,985	18,833,734
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,066,897	5,602,845
減価償却累計額	3,812,159	3,714,281
建物及び構築物(純額)	2,254,737	1,888,564
機械装置及び運搬具	2,318,357	2,048,750
減価償却累計額	805,058	645,612
機械装置及び運搬具(純額)	1,513,299	1,403,137
土地	1,856,423	1,856,423
建設仮勘定	223,562	296,922
その他	507,461	497,767
減価償却累計額	363,948	346,577
その他(純額)	143,513	151,189
有形固定資産合計	5,991,536	5,596,239
無形固定資産		
ソフトウェア	405,056	574,232
その他	52,825	53,480
無形固定資産合計	457,881	627,713
投資その他の資産		
投資有価証券	560,937	601,544
繰延税金資産	54,589	38,101
その他	203,058	193,599
投資その他の資産合計	818,585	833,246
固定資産合計	7,268,004	7,057,198
資産合計	25,217,990	25,890,932

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,342,044	11,275,443
短期借入金	742,843	1,055,526
未払法人税等	505,159	616,237
賞与引当金	269,998	310,729
役員賞与引当金	20,911	46,000
未払費用	429,261	460,199
その他	52,187	174,393
流動負債合計	13,362,406	13,938,530
固定負債		
長期借入金	-	2,516
退職給付引当金	-	13,766
役員退職慰労引当金	58,019	134,470
その他	28,450	27,950
固定負債合計	86,469	178,702
負債合計	13,448,875	14,117,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	10,010,862	9,995,950
自己株式	713	713
株主資本合計	11,631,546	11,616,634
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	130,623	155,666
為替換算調整勘定	6,943	1,398
評価・換算差額等合計	137,567	157,064
純資産合計	11,769,114	11,773,699
負債純資産合計	25,217,990	25,890,932

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】  
 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月30日)
売上高	18,689,193
売上原価	15,270,647
売上総利益	3,418,546
販売費及び一般管理費	2,289,106
営業利益	1,129,440
営業外収益	
受取利息	680
受取配当金	6,684
不動産賃貸料	36,571
その他	2,428
営業外収益合計	46,364
営業外費用	
支払利息	7,349
不動産賃貸費用	7,691
支払手数料	2,408
為替差損	20,949
その他	10,052
営業外費用合計	48,451
経常利益	1,127,353
税金等調整前四半期純利益	1,127,353
法人税等	493,120
四半期純利益	634,232

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
売上高	9,206,415
売上原価	7,602,145
売上総利益	1,604,269
販売費及び一般管理費	1,135,103
営業利益	469,165
営業外収益	
受取利息	437
受取配当金	308
不動産賃貸料	18,285
為替差益	64,017
その他	1,370
営業外収益合計	84,418
営業外費用	
支払利息	3,735
不動産賃貸費用	3,623
支払手数料	1,411
その他	2,470
営業外費用合計	11,240
経常利益	542,343
税金等調整前四半期純利益	542,343
法人税等	211,824
四半期純利益	330,518

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	1,127,353
減価償却費	500,091
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,645
賞与引当金の増減額(は減少)	40,460
役員賞与引当金の増減額(は減少)	25,089
退職給付引当金の増減額(は減少)	13,766
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	76,450
受取利息及び受取配当金	7,364
支払利息	7,349
売上債権の増減額(は増加)	589,818
たな卸資産の増減額(は増加)	605,706
仕入債務の増減額(は減少)	67,127
その他	97,614
小計	1,421,643
利息及び配当金の受取額	7,364
利息の支払額	7,575
法人税等の支払額	603,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	817,972
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	734,949
無形固定資産の取得による支出	38,703
投資有価証券の取得による支出	923
その他の支出	6,547
その他の収入	7,058
投資活動によるキャッシュ・フロー	774,065
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	205,500
短期借入金の返済による支出	25,386
長期借入金の返済による支出	502,761
配当金の支払額	614,911
財務活動によるキャッシュ・フロー	937,559
現金及び現金同等物に係る換算差額	939
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	894,592
現金及び現金同等物の期首残高	3,339,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,445,222



【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
会計処理基準に関する事項 の変更	<p>(1) 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用                      「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。                      この変更による影響は軽微であります。</p> <p>(2) リース取引に関する会計基準の適用                      「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成5年6月17日最終改正平成19年3月30日企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成6年1月18日最終改正平成19年3月30日企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上することとしております。                      なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。                      この変更による影響はありません。</p>

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメント契約を締結しております。		当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメント契約を締結しております。	
貸出コミットメントの総額	2,800,000 千円	貸出コミットメントの総額	2,000,000 千円
借入実行残高	- 千円	借入実行残高	- 千円
差引額	<u>2,800,000 千円</u>	差引額	<u>2,000,000 千円</u>

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
運賃	489,150 千円
貸倒引当金繰入額	6,388
賞与引当金繰入額	179,241
役員賞与引当金繰入額	20,911
役員退職慰労引当金繰入額	9,152

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
運賃	241,616 千円
貸倒引当金繰入額	6,273
賞与引当金繰入額	91,634
役員賞与引当金繰入額	10,580
役員退職慰労引当金繰入額	4,613

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	
(千円)	
現金及び預金勘定	2,445,222
現金及び現金同等物	<u>2,445,222</u>

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数  
普通株式 12,840 千株
  
2. 自己株式の種類及び株式数  
普通株式 0 千株
  
3. 新株予約権等に関する事項  
該当事項はありません
  
4. 配当に関する事項  
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年5月9日 取締役会	普通株式	616,291	48	平成20年3月31日	平成20年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

当社グループの事業は、「金属事業」の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の売上高の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

当社グループの海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	916.64円	1株当たり純資産額	917.00円

2. 1株当たり四半期純利益金額

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	49.40円	1株当たり四半期純利益金額	25.74円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期純利益(千円)	634,232	330,518
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	634,232	330,518
期中平均株式数(千株)	12,839	12,839

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

前連結会計年度に比べてリース取引残高に著しい変動は認められません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月11日

白銅株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 井出 隆 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 櫻井 均 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 向出 勇治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている白銅株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、白銅株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- ( ) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。